

篠崎 高等学校 令和8年度（1学年）教科

单位数： 1 单位

使用教科書：（東京都教育委員会「人間と社会」

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】地域社会における行政が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとしている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域社会における行政が抱える課題について、他者との協働に基づく探究的な学びを通して理解することができる。	地域社会における行政が抱える課題を解決するために調査を基に、多面的、多角的に分析し、その過程や望ましい解決の在り方について表現することができる。	地域社会における行政が抱える課題について、他者と協働しながら主体的に望ましい解決の在り方について探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	- SDGsの状況や地球規模の課題を多面的・多角的に分析している。 - 講演を通じて、課題の発見と解決など探究の過程を身に付け、探究の意義や価値を理解する。 - SDGsの視点から江戸川区の課題を発見し、発表する。	- ガイダンス - SDGsの課題と現状 - 江戸川区推進センター 講演 - 課題設定	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をする。	○	○	○	12
2学期	- 江戸川区が抱える問題意識を基に、自らが新たに想像する地域の価値について考察し、表現する。 - 探究テーマをグループで協働しながらKJ法などの思考法を基に調べたり、深めたりする活動を通じて、探究するテーマの課題を深めることができる。 - グループにおいて探究するテーマに関して収集した情報を整理、分析し関わり方についての理解を深める。	- グループ調査 - 課題の原因分析 - 解決策の検討 - 中間報告会	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をする	○	○	○	13
3学期	- 冬季休業を活用し、課題解決のための情報収集等を行う。 - グループにおいて探究するテーマに関する情報収集した内容を整理、分析し、課題を解決策するプランを発表し、フィードバックを基に方向性の修正を図る 1年間の学習の成果とともに、発表する。	- まとめと探究の技法 - 発表スライドの作成 - 発表準備 - プレ発表 - 最終発表	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動したかという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をする	○	○	○	10
							合計
							35